

放牧を組み入れた肥育技術の確立

放牧は、荒廃地の有効利用、景観保全や獣害防止に役立つだけでなく、地産地消がうたわれる中、目に見える畜産として安心できる畜産物を供給する有効な手法です。

当场では、肥育前期に放牧を取り入れた肥育技術に取り組み、放牧期間中に舎飼を組み込むことで期間中の体重の減少が抑制できること、早い時期の放牧はその後の肉質に影響を与えないことが判りました。



放牧中の肥育牛